

新発見！さつま町の遺跡

水天向遺跡・虎居町武家屋敷跡発掘調査速報展



水天向遺跡で見つかった縄文晩期の住居跡



水天向遺跡出土の縄文晩期の土製品

水天向遺跡

虎居町武家屋敷跡

期 間：平成 23 年 9 月 24 日（土）～平成 23 年 11 月 20 日（日）

会 場：さつま町宮之城歴史資料センター

特 別 講 演

第 1 回 「3200 年前頃のさつま町と九州 - 水天向遺跡の成果を中心に -（仮題）」

日 時：平成 23 年 10 月 16 日（日） 午後 2 時～午後 3 時

場 所：さつま町宮之城歴史資料センター 2 階常設展示室

講 師：県立埋蔵文化財センター主任文化財主事 東 和幸 氏

第 2 回 「虎居町武家屋敷跡からみる江戸時代の宮之城（仮題）」

日 時：平成 23 年 11 月 6 日（日） 午後 2 時から午後 3 時

場 所：さつま町宮之城歴史資料センター 2 階常設展示室

講 師：さつま町宮之城歴史資料センター専門員 川添 俊行 氏

さつま町教育委員会は、「川内川激甚災害対策特別緊急事業」に伴い、平成21年度に「水天向遺跡」と「虎居町武家屋敷跡」の発掘調査を実施しました。その結果、水天向遺跡では約3000年前の縄文時代から約800年前の中世までの成果が、虎居町武家屋敷跡では約200年前の江戸時代における成果が得られ、当時の人々の生活を知る上で、貴重な発見がありました。

さつま町宮之城歴史資料センターでは、これらの調査成果から、「新発見！さつま町の遺跡 水天向遺跡・虎居町武家屋敷跡発掘調査速報展」と題して、企画展を開催します。

この期間だけの展示内容となっています。この機会に、今まで知られていなかったさつま町の歴史を存分に味わってください。

(展示内容一部紹介 玉類)



まがたま 勾玉 (石材：クロム白雲母)



くだたま 管玉 (石材：クロム白雲母)

水天向遺跡からは、クロム白雲母という共通した石材を用いた勾玉や管玉といった、アクセサリも出土しています。鹿児島県内において、さつま町近辺では出水市の大坪遺跡が、同時代のこの石材を用いた玉類の製作遺跡であったと考えられています。水天向遺跡からは、玉を造る前の原石や未製品は出土していないことから、近くの大坪遺跡との交流により得られた可能性があります。

さつま町宮之城歴史資料センターへのアクセス



〒895-1811 鹿児島県薩摩郡さつま町虎居5228
TEL(兼FAX) (0996)52-3340

利用案内

開館時間

午前9時から午後5時まで(入館は4時30分)まで

休館日

月曜日(月曜日が祝祭日の場合、翌日)

入館料

一般 210円(157円)

小中学生 100円(50円)

未就学児 無料

()内は20名以上の団体料金です。